

事業所名 小規模多機能居宅介護「笑楽日」・グループホーム「風楽里」

運営推進会議開催報告書

開催日時 令和4年6月22日（水）活動状況報告・意見、感想の聞き取り	
参加者	議題
利用者 2人	1. 自己紹介
利用者家族（風楽里） 1人	
〃（笑楽日） 1人	
知見者 1人	2. 活動状況報告をご覧になってのご感想
市職員 1人	
地域包括支援センター 1人	3. 身体拘束適正化検討委員会
地域住民の代表者 1人	
事務局 2人	

1. 自己紹介

事務局・・・今年度2回目の運営推進会議を開催いたします。

お一人ずつ自己紹介をしていただきました。

2. 活動状況報告

事務局・・・感染対策をしつつ、外出の機会を増やしたり、

皆で取り組めるおやつ作りを楽しみました。

4月から新たに市民農園を利用して、利用者様と野菜などを作っています。

スライドショーも見て頂きながら、日常の様子をお伝えしています。

知見者・・・研修の内容は、誰がどのように決めているのですか。

事務局・・・下陣屋での研修は管理者が年間研修計画を作成して、担当を決め、月1回ずつ行っています。

法人研修も年間計画を立てて、月1回ずつ外部から講師を招待して行っています。

3. 身体拘束適正化検討委員会

事務局・・・物理的に拘束する「フィジカルロック」に該当する事案は、ありません。

先月、身体拘束について研修を行い、担当スタッフが、日常を観察した結果を発表しました。いわゆる「ちょっと待ってね」と言ってしまうときはどのような時か。別の言い方を考えよう。等の話し合いも行いました。

「スピーチロック」をしないようお互いに気を付けあっているが、

気が付いたその場で話せる環境づくりも大切だと、共通の認識としました。

地域の代表・・・拘束という言葉がきつく、そんなことはしていないと認識していたが、言葉の拘束と言えば家族間で、つきつい言葉かけをしているかもしれな

いと思いました。

知見者・・・仕事柄、成年後見人制度を利用される方と接するとき、本人を守ると同時に、  
ともすれば、本人の自由に制限が生じたり、損なう可能性のある側にいるという自  
覚を持つようにしています。

地域包括センター・・・最近はアルコール問題に関連した介護の相談が多く感じます。  
要介護者がアルコール問題も同時に抱えた場合は、介護者の負担が大きく、  
孤立することのないように、ドクターや包括センター、民生委員等に気軽に相談  
できる環境作りが大切だと思います。

事務局・・・貴重なご意見ありがとうございます。ぜひ参考にしたいと思います。

以上、令和4年度 第2回 運営推進会議の開催報告書とさせていただきます。

伊丹